

Enhavo .....	1
皆で語ろうエスペラント..... 松田達夫 ..	2
藤本達生のエス文法教室..... 藤本達生 ..	5
誰でもここからエスペラント .....	入宿 匠 .. 10
通信添削講座模範解答 .....	碓 大福 .. 13
通信添削問題 .....	15
エスペラント脱初級講座..... 丹後 学 ..	16
藤本達生の続きもので読みもので .....	藤本達生 .. 18
千個の単語も一個から...EPA rekomendas .....	22
役員コラム .....	稲村文一郎 .. 24
EPA支部便り .....	28
EPA事務局便り .....	31

第91回世界エスペラント大会フィレンツェ大会参加団募集  
7月29日出発、開会式、大本分科会、EPA分科会他、市内観光、ピ  
サ、ヴェネチア、ミラノ観光付、8月5日帰国。

2006年2月 新規・継続会員

新規 普通会員：小黒むつ子（富山）、豊田満枝（京都） Multan dankon kaj  
bonan kunlaboron!

継続

普通会員：佐藤ミネ、御牧健男、齋藤康子（京都）、前川稜子、中山繁和（香川）、  
合田セツ子、吉田信子（兵庫）、鈴木裕美（新潟）、岡田静香（大阪）、池沢優子  
（東京）、國野耀令（長野）、田村誠（愛媛）、西田光徳（福岡）、井上弘子（島根）、  
高橋テル（山形）、藤本浄（和歌山）、恩田創健（群馬）  
家族会員：藤本倫子（和歌山）

表紙の解説（Klarigo pri kovrila bildo）

出口 瑞（DEGUĈI Micugi）

「螢の行方」“Kien la lampiroj?”

## 皆で語ろうエスペラント

### 出会い

人類愛善会事務局次長

松田達夫 Macuda Tacuo

思い起こせばもう30年余りも前のことである。当時私は大本の梅松塾でエスペラントを習いだしたばかりの頃であった。基本の文法が少し分かりかけた頃で、とうてい会話が出るほどではなかった。

そんなある日、私宛に一通の手紙が海外から届いた。オーストラリアのタスマニアの一人のエスペランチストからである。来るはずも無い海外からの、しかもエスペランチストからの手紙に、信じがたい思いで封を切り、辞書を片手に解読してみた。

そこには、次のようなことが書かれていた。

「あなたのお友達のA・Kさんが、我が家を訪れ、あなたがエスペラントをしていることを紹介してくれた。そこで、日本に留学している私の娘をこのたび訪問する機会に、ぜひあなたを訪ねたい。

」

後に知ったこの男性は、マックギルさんという、オーストラリアの古いエスペランチストで、日本でも多くの知人をもつ人であった。

手紙を翻訳した段階の私は、そのような背景が分からず、ただおろおろするばかりで、何をどうしてよいか分からない状態であった。

まずは友達のA・Kに連絡をとり、事の次第を尋ねてみた。

じつはこの友達というのは高校の同級生の女性で、なかなか冒険心が強く、積極的な性格で、おまけに男子生徒並みに大柄だった。しかも彼女は高校生するとき、私が部長をしていた地学同好会(天体観測)に入会した唯一の女性でもあった。

このたびのいきさつもまったく彼女らしいものであった。

彼女は海外への単独旅行をひそかに計画し、英語を習いつつ、京都にある外国人専用の伝統工芸品デパートに就職し、英会話の腕



## 皆で語ろうエスperanto

を磨いた。

そして1年後、外国行きの貨物船でコックのアルバイトを申し込み、無銭旅行でオーストラリアに到着したのである。数カ月に渡る単独ヒッチハイク旅行は、帰国後、地元新聞が取り上げたほどの勇気のあるものであった。若い女性が一人ですることとは到底思えなかった。まさにウルルン滞在記を地でいくものである。

私はそんなことはまったく知らず、新聞さえも見ていなかった。

そしてその旅行の終盤に、彼女はタスマニアを訪れ、このマックギルさんのお家にお世話になった。マックギルさんは学校の先生をしていたので、その勤務する学校で、A・Kは日本からのお客様という体で、にわかの日本語外国人講師をしたりして、ご家族のみんなと親しくお友達になった。

いよいよ帰る頃、話題がエスperantoのことになった。

すると、そこで私がいつか彼女に話していたエスperantoや大本のことを思い出し、「私の友達にエスperantoをしている人がいる」と話した。そして、もし日本に行くことがあれば、松田達夫という人を訪ねていくようにと、彼女がそこにあった封筒に表書きをして、渡してきたということである。

それを聞いた私は、人の縁というものの不思議さや彼女の勇気、またエスperantoについていろんな人に話をしておくものだから、夢はいつか実現するものだからなど、いろんなことをあらためて思いしらされ、彼女から大きな勇気ももらった。

ただ心配なことは、私がまだエスperantoを習いだしたばかりで、まだまだ海外の人とお話できるほどの実力を持っていないことであった。

しかし、彼女がここまで道を開いてくれたのだし、私も梅松塾生の端くれ、後に引くことはできない。何とかなるだろう。神さまによくお願いしよう決心し、受け入れの計画を練った。

当時、大本のエスperantoリストといえば伊藤栄蔵先生。

ということで、梅松塾舎の一室に応接セットを準備し、午前中はここで伊藤先生から大本についてお話しをしていただくことにした。さっそく伊藤先生にお願いをしてみると、やはり先生はかねてからよくその方をご存知で、快く引き受けてくださった。

Lasee al vid fon dirdi / Ore nino nuna lasee poroj

## 皆で語ろうエスペラント

LAST AT THE TOP OF THE OCEAN WITH THE WATER TOWER

ただし、午後はせっかくだから君の案内で保津川下りや京都観光に出かけてはどうかと強く勧められてしまった。

実は、マックギル氏が亀岡を訪問する数日前の昼休み、私の寮に突然電話がかかってきた。いきなりエスペラントでかかってきたことから、最初はてっきり誰かのいたずらだろうと思った。

しばらく聞いているうちに、あのタスマニアのエスペランチストだと気が付いた。その途端、えもいわれぬ緊張で声が上がった。

何とか苦心して、いつ頃到着されるか、どこでお迎えするか等の用件をやり取りすることが出来た。

このときエスペラントの発音のことで初めての経験をした。

それは、英語を話す国の人の『なまり』である。Rの発音が英語のようになり、カタカナで表現すると次のようになる。

火曜日 = マルド (mardo)      マード

明日 = モルガウ (morgaŭ)      モーガウ

そのため、日にちのやり取りに苦慮した。

いよいよその日はやってきた。予定通りお迎えし、伊藤先生にもお会いしていただき、午後からは保津川下りと京都観光へ案内した。

私のエスペラントはたどたどしく、ほとんどは、その日駆けつけてくれた友達のA・Kの英語に助けられた。これが私にとって、初めての外国人エスペランチストとの出会いとなった。

チャンスとは、思わぬときに、思わぬところからやってくるものである。

この体験は私にとって30年以上たった今でも、エスペラントでないと起こりえない、すばらしい思い出として、色あせることは無い。





## 藤本達生のエス文法教室

念のために音節は何かといえ、母音 (AEIOU の 5 つ) が 1 つ入っていれば 1 音節の、2 つなら 2 音節の単語ということになる。sur とか la は 1 音節の単語なので、それ自体アクセントはない。

アクセントはその部分 (音節) を強く発音することだが、bona ボーナ、kato カート、tomato トマト、kanto カントのような単語の場合、われわれ日本人は自然に「強く」ではなく「高く」発音してしまう。意味に別状はないから、それでもいいが、世の中には別のアクセントがあることは知っておきたい。

ピアノのキーで言えば、高音部をたたくか、低音部をたたくかの違いであろうか。低音アクセントを聞くと、われわれにはアクセントの位置が間違っているように聞こえる。

なお、子音 (AEIOU 以外) の数は問わない。ただし、発音できる数でないはずいが。

bo とか、ka とか kan とかの、音節の区切り方は、発音に関係してくるが、この辺のことについては改めて述べることにする。

ここまで、16 カ条のうち (9) と (10) をあつかったけれど、もう少し補足しておく。

1 音節 (sur など) の場合、アクセントはないと言ったが、それは散文の場合である。

詩の場合、特に曲がついて歌う時は、リズムに合わせるため、1 音節語もアクセントに組み込まれる。おなじみの La Espero は En la mondon venis nova sento と始まるが、最初の en と la 以外は全部 2 音節語である。言い換えると、アクセントは強弱強弱でそろっている。それにつられて?まるで enla という一語みたいになって、en にアクセントが来る。

La Tagiĝo どうか?

## 藤本達生のエス文法教室

Agordu la brustojn ho nia fratar'.

これは弱強弱で、リズムが違うから La Espero の曲では歌えない。なお、fratar' と ' がついていることについては別に説明する。

さて、16カ条と言っても、1条が1行のものもあれば10行におよぶものもある。長いものは分けて見て行くほかはない。

2) の1 La substantivoj havas la finiĝon o.

名詞は語尾に o がつく。( o なる終わりを持っている )。名詞とは物や事の名で世の中で一番数が多い。もともと単語には名詞的語根があって、わざわざ o などくっつけなくてもよさそうだが、他とのつりあいからもあったほうがいいのである。

具体的に見て行く。

Tabako, tomato, domo, lampo, melono, monto, oceano, telefono (タバコ、トマト、家、ランプ、メロン、山、大洋、電話) のように、みな、~o で終わっている。(但し、~o で終わっている語は全て名詞とは思わないように。これについては別に説明する。)

ともかく、名詞は o で終わるのである。

2) の2 Por la formado de la multenombro oni aldonas la finiĝon j.

複数 (多くの数) を形づくるためには、語尾の j をつけくわえる。上記のを利用すれば、Tabakoj, tomatoj, domoj, lampoj, melonoj, montoj, oceanoj, telefonoj となる。j は i とはちがう、つまり母音ではないので、アクセントの位置には関係しない。軽くイと言い、イーとはならない。

2) は続く・・・。

## 藤本達生のエス文法教室

### 副詞の使い方(1)

講師 藤本達生

#### Preskaŭ と Apenaŭ

副詞には転来の副詞と言われるものがある。

bona : よい bone : よく のように、~e で終わるものである。このe副詞については別に書くことにする。

今回は本来の副詞、つまり上記の Preskaŭ や Apenaŭ を見て行く。

preskaŭ は表現としてはプラスのイメージがある。しかし実態は足りないというか、何かに「達していない」のである。

たとえば、

Mi havas preskaŭ mil enojn.

たとえば、「私はほとんど1,000円持っています」ということで、とにかく持っているのである。

ところが、999円は持っているが1,000円は持っていない。ただし、言い方としては、「ほとんど・・・持っています」と言う。

逆に、

Mi havas apenaŭ mil enojn.

ならどうか。

「私は辛うじて(やっと)1,000円持っています。」

つまり、表現としてはマイナスの感じを受ける。

ところが、1,001円はとにかく、1,000円は確実に持っているのである。

本来ならもっと、3,000円ぐらいは持っているべき筈の私ではあるが、それはない、けれども1,000円はちゃんと持っています、と言っている。





## 誰でもここからエスペラント 入宿 匠 (T.Ilijado)

初めてエスペラントに触れる皆さんは、このページから始めましょう。すぐに使えます。何ということはありませんよ。10分もすれば、とりあえず挨拶等は出来るようになります。

会話では、必ずしもローマ字は必要ありません。触れること、使うことが大切です。3ヶ月毎に内容を更新します。つまらなくなったら、本誌講座におすすみ下さい。カタカナでも良いのですが、いかにも...って感じになりますので止めました。場合によっては漢字もアリですが！

### 1：挨拶

さるーとん	やあ！（こんにちは）
ぼーなんまでーのん	おはようございます
ぼーなんたーごん	こんにちは
ぼーなんべすペーろん	こんばんは
ぼーなんのくとん	おやすみなさい
ぢすれびーど	さようなら
だんこん	ありがとう
ぱるどーのん	すみません



もう一度上を見て下さい。そして、口に出してみる。太字を強く読みます。それぞれ途中で休まず、一気に言って下さい。

さて、「ぼーな」は「良い」です。次に出てくる「までーのん、たーごん、べすペーろん」はそれぞれ「朝、昼、夜」ということを表しています。「のくとん」は夜中の事を指しますので、「良い夜中を...おやすみ！」となるわけです。ちなみに、「いい夢見ろよ！」は「ぼーなんそんぢょん！」となります。

「さるーとん」は時間に関係なく使えます。年齢性別に関わらず、誰でもおなじです。...とは言っても気軽すぎてチョット遠慮してしまう、と言うときは、時間に合わせて「ぼーなん...」を使いましょう。いずれも、時所位に応じて、元気に言ってみましょう。エスペラントは人工語だから、ロボットのように話すのか...、と勘違いしている方も時々居ます(笑)。さあ、気持を込めて、言ってみましょう。「こんにちは」と同じ気持で「さるーとん」と言うのですよ！

<とにかく口に出して言ってみる、使ってみる>

## 挨拶 2

さるーとん

みあのーも えすたす“(貴方の名前を入れる).”

みーとれぢょーやす びーでい びん

だんこん (ごすれびーど)

「みー」は私。「みあ」は「私の」。「のーも」は名前。「えすたす」は動詞(です、だ)。「とれぢょーやす」で「とてもうれしい」。「びーでい」は動詞(見る、会う)。「びん」は「君(あなた)に」。

最も短い「自己紹介」です。自分の名前をいれて言ってみて下さい。太字を強く読むのは同じですが、単語一つ一つのアクセント(強く読む)ではなく、文章の流れを考えて付けてあります。

これを覚えりゃ何とかなる!!

きーええすたす {ねつえせーよ} なにがほしいですか?

ていーええすたす {ねつえせーよ} こーひーをおねがいします

ちゅていーえ えすたす {ねつえせーよ} こーひーをほしいですか

いえす、ていーええすたす {ねつえせーよ} はい、こーひーをほしいです

きーえび なすきーぢす いいえ、ほしくありません

えん {きおーと} みなすきーぢす なにもいりません、ありがとう

先程と同様に、太字を強く読んで下さい。気持ちを込めてですよ!「ぶっきらぼう」に言えばそれなりに、また、心を込めて言えばちゃんと「心」が伝わります。「やく」は分かり易い様に「堅い言い回し」にしています。

次に、{ねつえせーよ}とカッコしてあるところを下の単語と入れ替えて使ってみましょう。場所を表す単語と人・モノが入ります。ちなみに、「きーえ」は日本語の「何処?」にあたります。日常生活で「使えるエスペラント」のススメです!独り言もOKです。外食したあと、ありゃ?お金がない!...と思ったら「きーええすたす みあもーの」と言ってみましょう。(「み でじーらす へるぼん」...ですね:前号までを参照!)

すたちーお:えき なじえーよ:プール ばねーよ:おふる どーも:いえ

あくつえぶてーよ:うけつけ れすとらつゐーお:れすとらん

おふいつえーよ:じむしょ れるねーよ:がっこう べんでーよ:おみせ

(誌面の都合により場所を示す単語だけに絞りました)

## 覚えた人はこれもヤル!!

さて、本誌入門講座や、「辞書が無くても学べるエスペラント語入門 改訂版：EPA 編）等に進む方は、ここで軽く予習をしておきましょう。

1：おもしろあるふぁべーと

エスペラントではアルファベットを「あるふぁべーと」と言います。こちらでも更新しました。間違いやすいところに焦点を絞りました。特に意味はありません（笑）。子音の発音の仕方をこれで覚えて、下にあるように「うおあえい」と母音を付ければ良いはず...!?!です。

匠式：追 津 杖 茶 地 中 D 不意 蛾 疑  
かな：つい つ つえ ちゃ ち ちゅ でい ふう が ぎ

匠式：チャ 痔 家 受 吸え 社 ティー トゥー 図を  
かな： ぢ いえ じゅ え しゃ しゃ お

2：エレガントに話そう

話の内容ではありません（笑）。口の筋肉を解きほぐしながら、エスペラントの文法を勉強できる方法です。すぐに試してみましょう！

まずは口を思いっきりとがらせ、次のように次第に口を開けていき、最後は「い〜！」と大きく横に開きます。ゆっくり、一息でやります。

う〜お〜あ〜え〜い〜 U O A E I

声は出しても出さなくても結構です。これを10回やってから、先ほどの挨拶をやりましょう。ほら！ハッキリ発音できるようになったら、かる〜いタッチでエスペラントを使うことができますよね。

さて、余裕が出てきたら次のことを思いだしながらやってね。ほとんどの単語はこれでカバーできます。エスペラントが外の言葉より覚えやすい...と言われる所以です。先ほどの単語のページを見て下さい。

う U：動詞には活用があることの象徴。まんじゅ（食べなさい）、いーる（行きなさい）

お O：モノの名前（名詞）はOが最後に付く。ばなーの、のーも、ふいーしょ

あ A：どんな（形容詞）は最後がAで終る単語。るーじゃ（赤い）、ばるま（熱い）

え E：Eで終る単語は〜して（副詞）、らびーで（急いで）、ぼすて（あとで）

い I：Iで終る単語は動詞の原形。まんじ（食べる）、いーり（行く）

動詞は重要ですから2回出ています。一口で6回美味しい練習法です！

興味が出てきたら読む本「啓蒙と前戯 エスペラント会話の達人」

（天声社、又は「ISBN 4-88756-055-9 C-0080 ¥1524E」お近くの書店で注文してね）

2006年2月号問題

## 初級

A. 次の文をエスペラントにしてください。

1. この町には、私の知っている人はだれもない。
2. 私はあなたの話していることが、どうしても分かりません。
3. 私は彼にも、彼の妹にも会いませんでした。
4. 昨日も今日も、雪が降った。
5. 私も彼もお互いに、電話をかけるでもなく、手紙を書くわけでもなかった。

B. 次の文を日本語にしてください。

1. La aŭto moviĝis per si mem.
2. Ili postulis rajton fumi tie.
3. Via sukceso dependas de via sorto.
4. Tri lateroj de la triangulo estas samlongaj, sekve ĝi estas regula triangulo.
5. Neniu parolis la veron, tamen fakte la afero okazis.

## 中級

A. 次の文を日本語に訳してください。

Notante, ke temas pri simpatia sinteno, la viro volonte priskribis la virtan vivon de la rano, aldonante ke li kiel knabo ĉiam havis ranon anstataŭ, kiel nun, hundon. La knaboj ja sciis pri liaj hundoj; Fido, Karlo, Nobelo, Fido—eterna serio en kiu la nuna Karlo estas nura ero—kaj facile kredis lian pretendon, kiu bone akordiĝis kun ŝatataj rakontoj en kiuj knaboj ĉiam portas en la poŝo ranon kun aliaj trezoroj.

B. 次の文をエスペラントに訳してください。

古美術案内。杜若蒔絵硯箱（かきつばた、まきえ、すずりばこ）。内に硯一面、水滴一個を収む。巾17.5 cm、たて20 cm、高4 cm。

（注）杜若蒔絵硯箱は、漆で杜若の絵が描かれている硯箱。

2006年2月号の解答例

初級 A

1. Mi konas nenium en tiu ĉi urbo.
2. Mi neniel povas kompreni, kion vi diras.
3. Mi renkontis nek lin nek lian fratinton.
4. Kaj hieraŭ kaj hodiaŭ neĝis.
5. Nek mi nek li reciproke aŭ telefonis aŭ skribis leteron.

B

1. 車はそれ自身で動き出した。
2. 彼らはそこでタバコを吸う権利を要求した。
3. 君が成功するかどうかは君の運命にかかっている。
4. その三角形の三辺の長さは等しい、したがってその三角形は正三角形である。
5. 真実を話さなかったが、しかし事実、その事件は起きたのです。

中級 A

おじさんは、同情しているという態度を示すことが大事だと思って、もちろんカエルもよい生き物であると言いました。さらに付け加えて、おじさんが少年であったときには、現在は犬を飼っているのと同じように、その代わりにカエルを飼っていたと言いました。その少年たちは実におじさんの犬についてよく知っていました。その犬は、フィード、カル口、ノバー口という名前で、フィードは連綿とつづく血統の犬で、カル口はその血統のうちの一匹です。そして少年たちはおじさんの主張を簡単に信じました。その話は少年たちが好きな話とそっくりで、少年たちがいつもポケットの中にカエルをほかの宝物と一緒に入れているというものでした。

B

Katalogo de belartaĵoj. Tuĉŝtonejo kun la bildo de marĉaj iridoj lakitaj per uruŝio. En la ejo estas unu tuĉŝtono, kaj unu akvumileto. La ejo estas 17.5 centimetrojn larĝa, 20 centimetrojn longa, 4 centimetrojn alta.

解説 初級A-4: Hieraŭ kaj ankaŭ hodiaŭ neĝis. でもよろしいです。A-5: nek ~ nekを「電話をかけるでもなく、手紙を書くわけでもなかった」のほうに使うと、Mi kaj li ambaŭ reciproke nek telefonis nek skribis leteron. ということもできます。Ne ~ neでもいいわけですが、nek ~ nekとすると、とくに話をしている場合には、つぎも否定しますよ、というサインをあらかじめ相手に知らせることができます。聞き手は、最初のnekを聞いて、心の準備をしますから、聞き間違いが少なくなるという効果があります。

中級A: 最初の文は、Notante, ke ~, la viro priskribis ~, aldonante ke ~. という組み立てになっています。分詞構文になっていますから、Notante と aldonante の主語はla viroです。ここは、~ anteがla viro priskribis ~の前後に一つづつ、ついていることとなります。また、temas pri simpatia sintenoは、無主語でtemas pri ~となっており、「~が問題である」という意味です。 ( 裕 大福 )

## 通信添削問題

### 初級

A . 次の文をエスペラントにしなさい。

- 1 . 彼は敵に服従しなかった。
- 2 . その父親は彼を許した。
- 3 . 規則により、王様は彼を罰した。
- 4 . 彼女は知識と経験に富んでいる。

B . 次の文を日本語にしなさい。

1. Mi sopiras je mia perdita feliĉo.
2. Li estas pli peza ol mi je dek kilogramoj.
3. Kia estas la koloro de la jako?
4. Kiajn kuiradajn vi plej ŝatas?

### 中級

A . 次の文を日本語に訳しなさい。

"Jes, jes, nur krablas kompreneble. La bufo nur krablas, knaboj, ĉar ĝi estas tiel ventra, tiel pufa, kun venena skvama haŭto, kiu eterne ŝlimas. Cetere ĝi estas danĝera, ĉar elkraĉas fajrolangon", li aldonis kuraĝigite de la mirplenaj esprimoj de la knabo. "jes, kaj venenas la akvon kontraŭ la bovoj".

B . 次の文をエスペラントに訳しなさい。

サンテミリオン。フランスのワインの中心地、ボルドーの主要産地のひとつである。その中心の町（といっても、人口三千数百の小さいところではあるが）と周辺のワイナリー、ブドウ畑まで含めて、世界遺産に登録されている。

八世紀に修行僧、エミリオンが隠遁生活を送るための洞窟を掘ったのが、この町の始まりだとか。そしてワイン作りはローマ時代までさかのぼるともいわれている。

サンテミリオン ( Saint-Emilion )、エミリオン ( Emilion )、ボルドー ( Bordeaux )

宛先 〒621-8686 京都府亀岡市天恩郷  
エスペラント普及会 誌上講座通信添削係  
( 返信用封筒に切手を貼ってお申込み下さい )

# Tango Manabu

エスペラント脱初級講座 「Ni kutimiĝu Esperanton!」  
講師 丹後 学

## 【odoro】

Kontraŭ neĝo aŭ prujno sin ŝirmante blankaj umefloroj floras kaj bonodoras. Ŝi flaris odoron de kamelio kies floroj estas rozosimilaj. Ĉe la kampo odoris je organika sterko kombinita kun enzimo. Fiodoras pulvo sur militkampoj. La prononco "bonodori" similas al la prononco de la japana vorto: "Bon-Odori" kiu signifas "ulambana dancado" -n!

odoro: (よい・悪い) におい、かおり sin ŝirmi: 凌(しの)ぐ flari:  
(においを) かく kampo: 野、田畑、分野、戦場 等 organika: 有機の  
sterko: 肥料 kombini: 融合する・化合させる 等 enzimo: 酵素

## 【ordo】

Mi montru la liston de monoferintoj por la movado en malriĉaj landoj, laŭ la ordo de la kanaoj sen mencio de titolo! Mi vicigas vortojn ne laŭ la alfabeto ordo sed ja laŭ mia plaĉo, ĉar la Hejm-Paĝo estas origine tute mia privata!▲

ordo: 順序、秩序、整とん 等 mon+oferi: 献金・寄付する kanao: (植物) カンナ、仮名(日本語のカナ) mencio: 言及 titolo: 呼称( sinjoro 等) 肩書、表題 等 vicigi: (順・列に) 並べる、整列さす

## 【ordoni】

Mi restis tie ĉi laŭ la ordono kaj mi ordigis la ŝuojn en unu linio, unu post la alia. Li ordonis al la 9 disĉiploj preĝi por unuigi la mensojn kaj dediĉi sin al la publika bono. En la 21a de aŭgusto 1919, la centan tagon de ilia preĝado aperis la miraklo de fingroprema sanga!▲.

ordoni: 命令する unu post la alia: 引き続いて disĉiplo: 弟子 menso: 精神 dediĉi sin: 献身・専念する publika bono: 公益 la centan tagon(=en la centa tago) cent tagojn(=dum cent tagoj): 『百日目』 『百日間』



和訳

【odoro】

雪霜を凌ぎて白梅の花が咲き匂う。彼女は、その花がバラに似ている椿の香りをかいだ・匂いがした。その田/畑では、酵素配合の有機肥料のにおいがした。戦場では火薬のいやな臭いがする。“bonÅEodori”という発音は、孟蘭(うら)盆のおどりを意味する『盆踊り』という日本語の発音に似ている。

“fi”は“malbona”より「いやな」という意味です。同じ火薬でも花火なら“Bone”!

“organika sterko”:『明星』の“odoro”が“bona”か確かめるためにも、“la vendejo”(売店):“Domo”(ドーム)で買ひましょう!そして、プランター栽培をするなど、『捨てる粉』にしないように!

“Domo”は亀岡にあり、健康食品が多いです。正月に行ったところ、『松葉酢』が韓国から輸入されていました。以前韓国でのエスペラント合宿の報告の表紙に、日本人には珍しいのか、松葉の缶ジュースらしき写真があり、『お松』がいかに健康に良いかがわかります。

【ordo】

貧しい国々での運動のために寄付をした人達の一覧表を、敬称略で五十音順に示します!そのホームページは、元々まったく私の個人的なものなので、アルファベット順ではなく私の好きなように、単語を並べています。

“kanao”や“hangulo”がエスペラントに外来語のような形であります。“japana litero(文字)”・“korea litero”では『説明』に過ぎないので、各国語がエスペラント化されることがあります。“utao”・“tankao”もありますが、時所位に応じて“japana poemo(詩)”よりも詳しく説明してあげてください!

【ordoni】

私はここにその命令に従って居残り、その靴を続けて一列に並べた。彼は9人の弟子に、精神を統一し、公のために一身を捧げるために、祈るように命じた。1919年8月21日、彼らが祈りつづけて百日目、指を圧する血の流れがおきるという奇跡が現れた。

最後の文は、前回号に引き続き、Ŭonbulismoの開教等を紹介したエス版ホームページより私が引用しましたが、和良久の前田先生がホームページ(<http://www.walaku.com/bbs87.htm>)で『実は手の中に宇宙があるんです』と書かれていることを思い出します!



Tacuo Huĝimoto:<<Felietone Felitone>>

### Ŝizuka Arakaŭa

Ŝizuka Arakaŭa apartenas evidente al la migdalokula raso. Tion oni povis klare vidi televide kaj gazetare. Kompreneble, okaze de la Vintra Olimpiko februare en Torino, Italujo.

Mi sciis, ke ekzistas tiu figursketa ĉampiono inter la aliaj sur tiu kampo.

Mi tamen ne havis precipan intereson al Ŝinjo <kiel ŝi estas karesnomata>, ĉar mi ne estis bone informita pri ŝia talento kaj kapablo. Ju pli iris antaŭen la olimpikaj tagoj, des pli ni japanaj spektantoj devis esti ĉagrenitaj, pro tio, ke diverskonkurse la japanaj ĉampionoj ne povis montri bonajn rezultojn. Ĝis la 23a de februaro <laŭ la japana tempo> estis nenia medalo.

Oni devis do atendi nun preskaŭ nur de la tri figursketaj ĉampionoj - Miki Andoŭ, Humie Suguri kaj Ŝizuka Arakaŭa.

La decida plenumo okazis frumatene de la dudek kvara <laŭ la japana tempo> kaj mi aranĝis vekhorloĝon por trafi la vivan relajson de la atendinda konkurso. Post la unua plenumo de tiel nomata SP <mallonga programo>, Ŝizuka okupis la trian lokon laŭ akiritaj poentoj.

Kiam mi estis vekita, ankoraŭ ne venis ŝia vico el sume 24 ĉampionoj. Kuŝante, mi iom dormetis kaj preterpasis la koncernan tempon de Ŝizuka. Kiam mi spektis atente la televidon, oni jam komencis ripeti la Δis finitan glitadon.



藤本達生の『続きもで読みもので』

## 荒川静香

荒川静香は明らかに切れ長の目をした人種に属している。それはテレビや新聞ではっきりと見る事ができた。もちろん、2月にあったイタリアはトリノでの冬季オリンピックの機会にである。

私はそのフィギュアスケートの選手が、他の人びとの中においてその分野に存在していることは知っていた。

とはいえシーちゃん（ニックネーム）には特別の関心があったわけではなかった。というのは、荒川の才能や能力について、ちゃんとした情報は得ていなかったからである。オリンピックの日程が進めば進むほど、われわれ日本人の観客は、ますますガッカリせざるを得なかった。それは、種々の競技で日本人選手達はよい結果が出せなかったからである。2月23日の時点（日本時間）でいかなるメダルもなかった。

そこでいまや3人のフィギュアスケートの選手だけに期待せざるを得ないようなことになってしまった。安藤美姫、村主章枝、そして荒川静香である。

決め手となる演技は24日早朝（日本時間）に行われたので、この期待すべき競技の生中継に間に合うよう目覚まし時計を仕掛けておいた。いわゆるSP（ショートプログラム）という最初の演技のあと、荒川は手にした得点によって3位を占めていた。

目を覚ました時は、合計24選手のうち、まだ荒川の番は来ていなかった。横になったまま、すこし、まどろんでしまい、荒川の時間を逃してしまった。注意深くテレビを見た時には、いま終わったばかりの滑りをくり返し始めていた。



Tacuo Huĝimoto:<<Felietone Felitone>>

Mi ankoraŭ tute ne komprenas teknikan flankon, nek ties terminojn de la figursketo. Ekzemple, mi ne precize distingas unu salton de la alia kun respektivaj du aŭ tri turniĝoj; krome, oni turniĝas spirale, levas alten unu piedon tenante aŭ ne per la mano. Se, ĉe la salto la sketanto falas surglacien, tiam ja oni vidas, ke tiu fiaskis aŭ fuŝis la ludon.

Kiam ĉiuj ĉampionoj, inkluzive de la personoj, kiuj antaŭe atingis pli superajn lokojn, finglitis la t.n. "liberan" programon, montriĝis, ke Ŝizuka tamen renversis la du aliajn kaj atingis la unuan lokon, nome la oran medalon.

Rezulte, ĝi estis la unua kaj sola medalo fare de la japanaj reprezentantoj. Oni diris, ke por la unua fojo en Azio iu gajnis oran medalon en la figursketa kampo, do ankaŭ en Japanujo.

Krom la salto kun du-tri turniĝoj dum la glitado, iumomente Ŝizuka prezentis dum sekundoj sian propran kaj unikan figuron : apogante sin sur ambaŭ gamboj, ŝi grade klinas la supran parton de sia korpo dorsen. En tiu formo ŝi estas vere eleganta kaj gracia. Ĝi nomiĝas Ina Bauer.

Kiam Ŝizuka staris meze de la premia perono, kun du reprezentantoj usona kaj rusa, arĝente kaj bronze medalitaj, ŝi aspektis bonstatura kaj eĉ bela kun la migdalokula fizionomio. Cetere, de la momento ore medalita, Ŝizuka neniom ploris.

Nur, kiam ŝi rigardis la emociitajn gepatrojn, Ŝizuka unuafoje eklarmis, oni diris.

私はまだ技術面やフィギュアスケートの専門用語が全く理解できていない。例えば、2ないし3回転つきのある跳躍と、もうひとつのそれとが、はっきり区別できない。さらに、スパイラル回転があり、手で支えたりそうでなかったりして、片足を高く持ち上げる、というのがある。もし、跳躍の時、スケーターが氷上に転倒すれば、その時はまあ、その人が失敗した、あるいは演技をしくじったことは分かる。

これまで上位だった人たちを含む全ての選手が、いわゆる「フリー」のプログラムを滑り終わった時、荒川はなんと他の2人を逆転し、1位すなわち金メダルに達していることが分かった。

結果として、それは日本代表による最初で唯一のメダルだった。フィギュアスケートの分野ではアジアではじめて、だから日本でも初めての金メダルだと言われた。

滑走中の2～3回転つきの数度の跳躍とは別に、荒川はある瞬間に数秒間自分独自のユニークな姿態を見せてくれた。両脚で自分を支え、荒川は上体を背中の方へゆるやかに傾ける。この姿態の時、荒川は真に優雅で優美である。これはイナバウアーと呼ばれる。

荒川が表彰台の真ん中に、銀と銅のメダルを得たアメリカとロシアの代表二人と立った時、荒川は背丈もあり切れ長の目をした顔つきをして、美しくさえ見えた。ちなみに金メダルを得た時から、荒川は少しも泣かなかった。

荒川は感動している両親を見た時に初めて涙ぐんだと言われている。

## 千個の単語も一個から *NOVA VOJO rekomendas*

abon-	bat-	De	Esper-	fulm-	Infan-	Knab-	kuk-
Aĉet-	batal-	Decid-	esplor-	fum-	Inform-	kol-	kuler-
Adres-	baz-	defend-	esprim-	Funkci-	insekt-	Kolekt-	kulp-
Aer-	bedaŭr-	Dekstr-	Est-	fuŝ-	insign-	koler-	Kultur-
afabl	Bel-	Demand-	estim-		Instru-	Kolor-	Kun
Afer-	Best-	dens-	eventual-	gaj-	insul-	komb-	kupon-
Ag-	Bezonz-	dent-	evolu-	gajn-	inteligent-	Komenc-	kur-
agrabl-	bibliotek-	desegn-		gas-	intenc-	Komerc-	kurac-
Aĝ-	bicikl-	detal-	Facil-	gast-	Inter	komfort-	kuraĝ-
ajn-	bier-	Dev-	faden-	Gazet-	Interes-	komisi-	Kurs-
Akcept-	Bild	Dezir-	fajr-	glaci-	intern-	komitat-	Kuŝ-
akr-	bilet-	di-	Fak-	Glas-	Invit-	kompar-	kutim-
aktiv-	Bird-	diferenc-	Fakt-	glit-	Ir-	kompat-	kuz-
Akv-	blank-	difin-	faktur-	Grand-		Kompren-	kvadrat-
Al	blow-	Dik-	Fal-	gras-	Ja	comput-	kvalit-
Ali-	blu-	Dir-	fam-	gratul-	Jam	Komun-	kvankam
almenaŭ	bol-	Direkt-	Famili-	Grav-	Jar-	komunik-	kvant-
Alt-	Bon-	disk-	Far-	gren-	Je	Kon-	kvazaŭ
Am	bord-	diskut-	fart-	griz-	Jen	koncern-	
amas-	botel-	Divers-	Feliĉ-	Grup-	Jes	kondiĉ-	La
ambaŭ	bov-	divid-	Fenestr-	gust-	juĝ-	konduk-	Labor-
Amik	brak-	Do	fer-	gvid-	Jun-	konfes-	lac-
amuz-	Bril-	Doktor-	feri-		jup-	Kongres-	Lag-
angul-	bros-	Dolĉ-	Ferm-	ĝarden-	just-	konkret-	Lakt-
Ankaŭ	bru-	dolor-	Fest-	ĝen-		Konsent-	Land-
Ankoraŭ	brul-	Dom-	fiks-	Ĝeneral-	Ĵet-	konserv-	lang-
anonc-	brun-	domaĝ-	Fil-	ĝentil-	Δis	konsider-	larĝ-
Anstataŭ	brust-	don-	Film-	Ĝis		Konsil-	Las-
Antaŭ	buŝ-	donac-	Fin-	ĝoj-	kadr-	konsist-	Last-
aparāt-	buter-	Dorm-	fingr-	ĝu-	kaf-	konstant-	laŭ
Apart-	buton-	dors-	Fiŝ-	Ĝust-	Kaj	Konstru-	Lav-
aparten-		drat-	flag-		kajer-	Kontakt-	Lecion-
apenaŭ	Cel-	dub-	Flank-	ha	kalendar-	Kontent-	Leg-
Aper-	centr-	Dum	flav-	halt-	Kalkul-	Kontraŭ	legom-
Apud	Cert-	dung-	Flor-	har-	Kamp-	kontrol-	leĝ-
aranĝ-	ceter-		flu-	haŭt-	Kant-	konven-	Lern-
arb-	cigareted-	eben-	Flug-	Hav-	kap-	konvink-	lert-
Art-	cirkl-	Eĉ	Foj-	haven-	kapabl-	kopi-	Leter-
Artikol-		Eduk-	foli-	Hejm-	Kapt-	kor-	Lev-
Asoci-	Ĉambr-	Edz-	fond-	hel-	Kar-	korb-	Liber-
aspekt-	ĉapel-	efektiv-	font-	Help-	karb-	respond-	Libr-
atak-	Ĉar	efik-	For-	herb-	Kart-	corp-	Lig-
atend-	Ĉe	egal-	Forges-	Hieraŭ	Kased-	kort-	lign-
Atent-	Ĉef-	ekonomi-	fork-	Histori-	Kaŝ-	Kost-	lim-
ating-	ĉemiz-	ekskurs-	Form-	ho	kat-	kostum-	Lingv-
Aŭ	ĉes-	ekspozici-	Fort-	Hodiaŭ	Kaŭz-	kovert-	lini-
Aŭd-	ĉeval-	Ekster	fos-	Hom-	kaz-	kovr-	lip-
Aŭskult-	Ĉi	ekzamen-	Fot-	Hor-	Ke	krajon-	list-
Aŭtobus-	Ĉiel-	Ekzempl-	Frap-	horloĝ-	Kelk-	kre-	lit-
Aŭt-	Ĉirkaŭ	ekzerc-	Frat-	hotel-	kilogram-	Kred-	liter-
Aŭtomobil-	Ĉu	Ekzist-	fraŭl-	hund-	kilometr-	Kresk-	Literatur-
Aŭtun-		El	fremd-		kis-	kri-	Loĝ-
av-	Da	Elekt-	frenez-	Ide-	Klar-	Krom	Lok-
azen-	danc-	elektr-	freŝ-	ideal-	klas-	kruel-	Long-
	danĝer-	En	frost-	imag-	klin-	krur-	Lud-
Baldaŭ	Dank-	energi-	Fru-	imit-	klopod-	kudr-	lum-
ban-	Daŭr-	erar-	frukt-	industri-	Klub-	Kuir-	lun-
bar-							

Man-	nep-	paš-	Prefer-	Rest-	silent-	Štat-	
Manĝ-	nep-	Patr-	preĝ-	Revu-	Simil-	stel-	Vagon-
Manier-	neŭtral-	Pec-	preleg-	rezult-	Simpl-	ŝtof-	valid-
Mank-	nev-	pen-	prem-	Ricev-	Sinjor-	ŝton-	Valor-
mantel-	nigr-	Pend-	premi-	Riĉ-	sistem-	ŝtrump-	Varm-
Mar-	nivel-	Pens-	Pren-	Rid-	Situaci-	ŝtup-	vast-
Mark-	Nokt-	pentr-	Prepar-	Rigard-	Skatol-	ŝu-	vek-
marŝ-	Nom-	Per-	Pres-	Rilat-	Skrib-		Ven-
mastr-	nombr-	Perd-	Preskaŭ	Rimark-	soci-	Tabl-	Vend-
Maŝin-	nord-	perfekt-	Pret-	rimed-	soif-	tabul-	venk-
Maten-	normal-	period-	preter	Ripet-	Sol-	Tag-	vent-
material-	not-	Permes-	prez-	ripoz-	soldat-	Tamen	Ver-
mebl-	Nov-	Person-	Prezent-	River-	solv-	tas-	verd-
medi-	nu	Pet-	Prezid-	riz-	Somer-	task-	Verk-
Mem	nub-	pez-	Pri	rob-	Son-	taŭg-	Vesper-
Membr-	Numer-	Pied-	princip-	roman-	spec-	te-	Vest-
Memor-	Nun	pik-	Printemp-	Romp-	Special-	Teatr-	veter-
mend-	Nur	piik-	Pro	rond-	spedul-	tegment-	Vetur-
merit-		Plaç-	Problem-	roz-	Spert-	tekst-	Viand-
Met-	obe-	plafon-	Produkt-	rubrik-	spez-	Telefon-	vic-
metal-	objekt-	plan-	profund-	ruĝ-	spic-	teler-	Vid-
Metod-	odor-	plank-	program-	rul-	spir-	Televid-	vigl-
metr-	Ofic-	plant-	progres-		Sport-	Tem-	Vilaĝ-
Mez-	Oft-	plast-	projekt-	saĝ-	Staci-	Temp-	vin-
mezur-	Okaz-	Plej	Proksim-	sak-	Star-	Ten-	Vintr-
miks-	okcident-	Plen-	promen-	sal-	stat-	teori-	Vir-
Milit-	okul-	plend-	promes-	Salon-	stel-	Ter-	viŝ-
Minus	Okup-	Plezur-	propon-	salt-	strang-	terur-	vitru-
Minut-	Oi	Pli	Prop-	Salut-	Strat-	Tim-	Viv-
Mir-	ole-	plor-	Prov-	Sam-	streĉ-	tir-	vizaĝ-
modern-	onkl-	Plu	prunt-	San-	Stud-	tond-	Vizit-
mok-	Opini-	plum-	Publik-	sang-	stult-	Tra	voĉ-
mol-	or-	Plur-	pun-	sankt-	Sub	tradici-	Voj-
moment-	ord-	plus	punkt-	sat-	subit-	Traduk-	Vojaĝ-
Mon-	Ordinar-	pluv-	pup-	sav-	sud-	traf-	vok-
Monat-	ordon-	po	Pur-	Sci-	sufer-	trakt-	Vol-
Mond-	orel-	Poem-	puŝ-	Scienc-	Sufiĉ-	Tranĉ-	volv-
Mont-	Organiz-	poent-		Se	Sukces-	trankvil-	Vort-
Montr-	orient-	poezi-	rad-	Sed	suker-	Trans	vost-
Morgaŭ	original-	polic-	Radi-	Seĝ-	sum-	Tre	
Mort-	ost-	politik-	Rajt-	sek-	Sun-	Trink-	Zorg-
Mov-	ov-	pont-	Rakont-	sekretari-	Super	Tro	
Mult-		Popol-	rand-	seks-	supoz-	Trov-	
mur-	Pac-	popular-	rang-	Sekv-	Supr-	tru-	
muŝ-	Pag-	Por	Rapid-	Semajn-	Sur	Tuj	
muze-	Paĝ-	Pord-	Raport-	Sen		tuk-	
Muzik-	pak-	Port-	Redakt-	senc-	ŝaf-	turism-	
	palp-	Post	reg-	Send-	Ŝajn-	turist-	
Naci-	Pan-	postul-	Region-	Sent-	ŝanc-	Turn-	
naĝ-	pantalon-	poŝ-	Regul-	Serĉ-	Ŝanĝ-	tuŝ-	
Nask-	Paper-	Poŝt-	reĝ-	seri-	Ŝat-	Tut-	
Natur-	par-	pot-	reklam-	serioz-	ŝerc-		
naz-	Pardon-	Pov-	Rekomend-	Serv-	Ŝip-	Universal-	
Ne	park-	praktik-	rekt-	sezon-	ŝir-	Universitat-	
nebul-	Parol-	prav-	religi-	Sid-	ŝlos-	Urb-	
Neces-	Part-	precip-	Renkont-	sign-	ŝnur-	Util-	
neĝ-	pas-	preciz-	Respond-	Signif-	ŝrank-	Uz-	
nek							

## Estrarana kolumno

-B-Inamura Inspektisto de EPA

### Komenciĝis brodkasto tiel nomata Internacia Televido al tuta mondo tute en E-o.

Ĉirkaŭ fino de la Meia-erao (1868~1912) Onisaburo Deguti, kunfondinto de Oomoto havis opinion, ke paco en la tuta mondo naskiĝos per internacia lingvo, do ni devas, vole-nevole, lerni Esperanton.

Do, Oomoto enkondukis Esperanton. Tia afero okazis pro fenomenata destino, ke la 25-an de aŭgusto en 1922, la 2a Spirita gvidantino renkontis kaj kunsidiĝis kun s-ino Finĉi, propagandistino de Bahaismo en trajno de Toukaidoulinio.

Post la renkontiĝo tuj komenciĝis esperanta kurso en Mirokuden kie estas kultejo de Oomoto, tiam estis majo de sekva jaro, kaj sekve en la 25-a tago de junio fondiĝis EEA (esperanta esplora asocio).

Ankaŭ Onisaburo, kunfondinto, propramane versis multajn tankaĵojn. Tiuj tankaĵoj estis enversitaj sencon de esperanto. Krome, li paroladis pri Esperanto en diversaj lokoj.

Kaj jam Esperanta-Esplora Asocio (EEA) ŝanĝis la nomon al Esperanto-Populariga Asocio (EPA) en tiujara oktobro.

Entute EEA de Oomoto finis esploron kaj aktive debutis en la kampo de popularigo.

En 1925 S-ro Nisimura Kougetu estis elektita al vicprezidanto ĉe UK, kiu malfermiĝis en Svislando. Tiamaniere EPA estis konfidita de la mondo, kaj aktiviĝis en la mondo, sed ne dum longa tempo.

Sed bedaŭrinde Esperanta movado kaj ankaŭ EPA, eniris tre longan vintron pro la 2-a mondomilito kaj tiel plu.

EPA denove malfermiĝis en 1950, tiam estis 5 jaroj post la militfino. Sed nun ne estas tia energio kiel estis antaŭ 80 jaroj.

Sed tia energio ne tute perdiĝis. EPA sindetenis en daŭraj tempoj, sed certe enradikiĝis profunde.

Nun agado de EPA estas energia en fremdlandoj. Kaj ankaŭ preteco estas plifortigita, nome, gvidado kaj edukado en interno estas plifortigita.

Ankaŭ kun kurso oni aktive kaj energie agadas. Certe nova burĝono nun naskiĝas.



## 役員コラム

EPA 監事 稲村文一郎

『全世界にエスペラント語だけの国際テレビ放送が始まった』

大本の出口聖師は明治時代（1868～1912）の末ごろには「世界の平和は国際語エスペラントによってもたらされるのだから、どうあってもやらねばならない」というお考えだったようですが、大正11年8月25日大本の二代教主が東海道線の列車内でバハイ教の宣伝使フィンチ女史に出会われるという宿命的なご縁によって大本にエスペラントが導入されました。

その出会いがあった翌年の5月には大本のみろく殿でエスペラント講習会が始まり、ついで6月にはエスペラント研究会が設立されました。また、出口聖師は数多くのエスペラントの単語の意味を込めた短歌を創作されたり、エスペラントについて各地で講演をされましたが、その年の10月には早くもエスペラント研究会はエスペラント普及会（EPA）に名前が変わっています。要するに大本のエスペラント研究会は研究を終えて積極的に普及の場へ乗り出したのです。

大正14年（1925）西村光月氏はスイスで開催されたエスペラント世界大会で副議長に選ばれています。このようにエスペラント普及会（EPA）は短期間の内に世界の信頼を受けるようになったのです。

しかし残念ながら、第二次世界大戦やその他の事件のためにエスペラント運動もEPAも永い永い冬の時代に入りました。

EPAは昭和25年（1950）終戦の5年後活動を開始しましたが、80年前のようなエネルギーはありません。

しかしエネルギーが全て失われたのではなく、EPAは冬枯れの雌伏時代ではあるけれども、深く根を張っているのは事実です。今EPAは海外活動が活発化し、また内部では教育指導体制が強化され地方支部も含めて講習会が活発化しています。そして若い講師が次々に養成任命されているなど、明らかに新しい若い芽が芽生えていることは事実です。

最近、正確には2005年11月5日から、初めてのインターネットによるエスペランティストのためのエスペランティストによる全部エス

## Estrarana kolumno

Plej nove, se mi diros ekzakte de la 5-a de novembro de 2005a jaro komenciĝis brodkasto tiel nomata Internacia Televido al la tuta mondo. Tia brodkasto paroliĝis por esperantistoj fare de esperantistoj tute nur en Esperanto.

Ĉirkaŭ fino de novembro mi havis emociiĝon, kiam mi rigardis prezentatan Banŝjouden, kie estas kultejo de Oomoto. Elsendejo de tia TV estas nomata CIDKON kiu estas entrepreno grandega “ Portal Site ” en Brazilo .

Kaj tia “ site ” brodkastis novaĵon, artikolon, videon kaj tiel plu. Kaj ĉiutage ĝi renovigatas .

De antaŭ tempo EPA kaj Brazilo estas firme kunligitaj. Ekleziaj principoj de Oomoto tradukitis esperanten kaj oni sendis al oomotanoj de Brazilo, sekve esperantaj ekleziaj principoj estas retradukitaj al Portugalaj vortoj, kaj tiaj tradukitaj principoj estas senditaj al Eŭropo. Per tia afero oomota doktrino disvastiĝis, sed tian aferon ni ĉiuj jam komprenas.

Krome en antaŭlasta jaro fondiĝis “ Oomoto Internacia ” en Brazilo. Per kunlaboro de Oomoto kaj de spiritistoj en Brazilo. Tio ne povis okazi sen esperanto.

Mi sentas profundan emocion, ĉar ĉi-foje esperanta brodkasto komenciĝis el Brazilo al la tuta mondo. Kaj tia Brazilo havas multajn rilatojn kun Oomoto kaj EPA.

Nun en la tuta mondo progresas unuiĝo de la mondo por mondopaco. Kaj ankaŭ aktiviĝas agado de la mondo por mondfederacio dezirante tutmondan unuiĝon. Baldaŭ realiĝos la tempo kiam Esperanto estos utiligita .

Prezidanto de la kompanio nomata CIDKON diras ke nun la tuta mondo progresas al la unuiĝo de la mondo en persona nivelo.

Kaj tio estas naskiĝanta per gejunuloj kiuj lernantas esperanton per interreto .

Nun mi forte pensas ke finfine la profetita epoko venos kiel tio estas “ Mondopaco naskiĝos per internacia lingvo ” , kaj tio jam profetiĝis de Onisaburo Deguti kunfondinto antaŭ 83 jaroj.

Nu ankaŭ ni kune vole-nevole pli multe lernu esperanton kun pasio.

## 役員コラム

ペラント語のテレビ放送が全世界に放映され始めました。

11月末には大本の万祥殿が紹介されて感激しました。発信元はブラジルで最大のポータルサイト [gangalo.com](http://gangalo.com) が運営するブラジル企業 CIDKON で、サイトは全世界のニュース、記事、ビデオなどを放映しており、毎日更新されています。

EPA は昔からブラジルとは縁が深く、大本の教典をエスペラント語に訳して送っています。エスペラント語からポルトガル語に翻訳され、このポルトガル語の教典がヨーロッパに渡り、大本の教えが広まっていることは周知のことです。

さらには一昨年現地ブラジルの心霊主義と共同で首都ブラジリアに「大本インテルナツィーア」が設立されましたが、エスペラントなしには出来なかったことでしょう。

このように大本や EPA と縁の深いブラジルから全世界にインターネットでエスペラント語テレビ放送が送られることになったことに私は深い感慨を覚えます。

今世界の動きを見ると、平和を目指してヨーロッパの統合(EU)が進んでいる一方で、全世界の統合を願って世界連邦への活動が活発化してきています。これに役立つ言葉としてエスペラントが用いられる時代になるのももうすぐでしょう。

CIDKON の社長フラヴィオ・レベロ氏の「エスペラント語は国際語として急速に普及しつつある。個人レベルでは世界統合が進みつつある。」という言葉が Internacia Televido の中で紹介されていましたが、83年前に出口聖師が予言された「世界平和は世界語によってもたらされる。」という時代がいよいよ間近になったものという思いを強く感じます。

さあ私たちの好むと好まざるとに関わらず一緒にエスペラントを学びましょう。



## EPA 支部便り

EPA「第16回国際エスペラント合宿」のご案内  
- - 北九州で2年に一度開催のエス合宿 - -

今回で第16回目になる国際合宿が、大本筑紫本苑を会場に開催されます。毎回韓国からも参加者があります。初心者にも楽しくやさしくエスペラントに親しめるよう入門から中級まで自分のレベルにあわせた参加ができます。

### 記

期間：平成18年4月22日(土)～23日(日)

会場：大本筑紫本苑 〒802-0042

福岡県北九州市小倉北区足立3-8-12 Tel & Fax 093-921-5667

主催：EPA、大本筑紫本苑青年部、ソウルエスペラント文化院

持参品：宿泊準備、洗面具、筆記具、ノート、辞書(お持ちの方)

参加費：一般5,000円、EPA会員・大本信徒・海外参加者4,000円  
(参加費には宿泊と食費が含まれます。テキスト代は含まれません)

プログラム(予定)	4/23(日)
4/22(土)	07:00 起床・洗面
14:00 開講式 引き続き 学習	07:30 朝の散歩(朝拝:大本信徒)
17:00 周囲散策(夕拝:大本信徒)	08:00 朝食・記念写真
17:40 夕食	09:00 学習
19:00 学習	11:00 クラス別自由時間
20:30 懇親会	12:00 昼食
22:00 就寝準備	13:00 ちからだめし
	14:00 閉講式
募集人数(40名)をこえましたら 締め切らせていただきます!	15:00 解散
	-----
	16:00- 韓国参加者と希望者は市内 観光と夕食会へ(実費4,000円程度)

### 申込み

平成18年4月10日までに住所・氏名・電話番号・学年(職業)・生  
年月日・メールアドレス(お持ちの方)を下記へご連絡ください。

松本 朗(アキラ)

E-mail: mtmt@mx1.harmonix.ne.jp

郵送: 〒818-0125 太宰府市五条 1-13-61

Tel & Fax: 092-924-8051

## EPA 支部便り

エスペラント研修会報告

E P A 京都支部 飛沢一毅

\*\*\*\*\*

京都本苑青年部では去る3月4日・5日の両日、松本公夫・川村泰範、両講師をお招きし第3回1泊エスペラント研修会を開催した。参加者14名

4日午後1時から開講式を行いその後、夕拝まで研修1を行った。研修内容としては初級コースと上級コースを設け、初級は松本先生、上級には川村先生にそれぞれ担当して頂いた。



初級コース(写真左)では、ノーヴァ・ヴォーヨを中心に挨拶・文法の基礎等を行った。

上級コース(写真右下)では、文法の入替えや組み換えを行った。

そして5時から夕拝、夕食を済ませ7時から研修2を行った。夜の研修後は松本先生のインドネシアとモンゴルについてのプレゼンテーション、川村先生指導によるエスペラントを

使ったゲーム大会を行い大変盛り上がった。その後入浴・パラディーズを行い、1日目を終えた。

2日目、7時起床、洗面・朝拝・朝食を済ませ、9時から11時まで研修3を行った。

その後昼食を済ませ、閉講式を行い解散した。



『今回の研修会を振り返って』

今回で第3回目となりましたが、過去2回に比べると参加者の減少など少し物足りない研修会となりましたが、その分講師との距離が近くなり、良い雰囲気での研修会となりました。

現在大本本部では講師の数が増えていると聞きます。我々地方信徒もこのようなエスペラント研修会を数多く開催し、エスペラントを早急に身につけていかなければと思いました。』



## EPA 支部便り

E P A 金沢支部長 / 石川 E 会事務局 齊藤直

\*\*\*\*\*

### 人物顕彰

鈴森 淑 (すずもり よし/旧姓 田中)

1911年～2006年

明治44年7月18日、石川県七尾町(現七尾市)に生まれる。富山市で育ち富山県立高等女学校を経て、「女子英学塾(後に津田英学塾、現津田塾大学)」に入学。

在学中に大本の教えに魅かれ、昭和7年夏入信、そこでエスペラントを知り学習を始める。卒業後、石川県立第一高等女学校の英語教師となり、昭和13年結婚。第2次大本事件当時には地元警察署に収監拘留された事もあった。

戦後、石川県立二水高校の英語教師を経て金沢女子短期大学(現金沢学院大学)の助教授となり、「愛と理性」の建学の理念を説いて慈母の如き教師と仰がれつつ数多の子女を世に出した。

また未だ日本からの参加者が少ない頃から世界エスペラント大会に幾度も参加、ヨーロッパ、アメリカを度々訪問し、その国々のエスペランティストと交流をした。昭和41年ブダペストでの第51回世界大会には人類愛善会代表として出席、帰途、ローマ法王パウロ6世に謁見し、出口直日総裁からのメッセージを手渡すなど、世界連邦、地球市民、ユネスコ等世界平和活動、宗際化活動に尽力した。

大本においては信徒の代表として大本総代を4期務め、その女性組織の役員を歴任し、またエスペラント普及会の役員も務めた。忙しい中にも、和歌の道、能楽、茶の湯、クラシックを愛され楽しんだ。

質素を基とし清貧を絵に描いた様な日常生活の中、貧しく恵まれない子女へのボランティア活動を最後まで継続されていた。平成18年2月20日94歳をもって昇天。

葬儀会場には先生のお好きだった早春賦が流され、お通夜の後、先生の弟子、孫弟子10数人がエスペラントによる混声4部合唱で基本宣伝歌を献じた。

### 川村 EPA 事務局長の退任ご挨拶



3年以上にわたりエスペラント普及会の事務局長を担い、国内外で活躍された川村泰範さんが、一身上の都合により大本本部を退職されることになり、それにともないEPAの役職も辞されることとなりました。

川村さんのEPAにおける輝かしい業績を讃えつつ、新天地でのご活躍をお祈りいたします。

それでは、ご本人から一言。

『突然ですが、皆さんにお別れのご挨拶をさせていただくこととなりました。在任中には皆さまには大変お世話になり、厚く感謝申し上げます。

大本梅松塾を出塾し1996年から大本本部に奉仕。同年にEPA事務局(当時)の事務局員を拝命、また郷内講座、地方講座の講師を担当させていただきました。以来、大本内での異動等はございましたが、EPA業務については連続して10年間、携わらせていただきました。その間、各種活動また講習会等で、国内外の多くの方と出会い、交流そして学習のお手伝いをさせていただきました。少しでも皆さまのお役に立てていたら幸いです。これからは、一般のEPA会員として、皆さまとともに活動を支え、推進していければと存じております。

今後は新編集長のもと、NV誌は更に充実していくものと存じます。今後ともよろしく願い申し上げます。』

Mi, Yas, amike adiaŭas al vi ĉiuj legantoj de la gazeto. Pro la fakto, ke mi estas rezigninta de Oomoto jam, kiam vi legas tiujn ĉi liniojn, mi estas ekŝiĝinta de ĉiu mia posteno en EPA. Mi laboros en kompanio iomete sekulara, kiu situas en Vieno, Aŭstrio (transloĝiĝinte). Daŭre mi vivos en E-io en la kampo de instruado kun miaj kolegoj, kiuj agadas tie, mi esperas.

De la jaro '96 mi laboris en la oficejo de EPA kiel oficisto, konstanta estrarano, redaktoro kaj ĝenerala direktoro. Ĉiuj renkontiĝoj dum tiuj 10 jaroj estis tre belaj, riĉaj kaj fruktodonaj al mi. Mi daŭre volas kunlabori kun vi kiel unu el la membroj de la asocio.

Multajn dankojn pro viaj kunlaboroj, kaj ĉion bonan al vi mi deziras. Ĝis revido!

なお後任のEPA普及会の事務局長には、人類愛善会国際部次長の矢野裕巳氏が就任いたします。

## EPA 事務局便り

### 亀岡天恩郷・郷内講座のご案内

- 月曜昼  木村且哉 rudimenta  
(Kacuja KIMURA)  
入門・初級クラス
- 火曜夜  小藪資史 rudimenta  
(Motofumi KOJABU)  
入門・初級クラス
- 水曜昼  松本公夫 rudimenta  
(Kimio MACUMOTO)  
入門・初級クラス
- 水曜夜  平野清享 komencanta  
(Kijotaka HIRANO)  
初級クラス
- 水曜夜  川地善則 komencanta  
(Jošinori KAŮAĀĀI)  
初級クラス
- 木曜昼  平岡 康 rudimenta  
(Jakkun HIRAOKA)  
入門・初級クラス
- 木曜夜  鬼塚義彰 rudimenta  
(Jošiaki ONICUKA)  
入門・初級クラス
- 金曜昼  奥脇俊臣 paroliga  
(Tošiomi OKUŮAKI)  
初級クラス
- 金曜昼  西永篤史 paroliga  
(Acuši NIŠINAGA)  
会話クラス
- 金曜夜  大和田さち rudimenta  
(Sači OOŮADA)  
入門・初級クラス

2006年1月より亀岡天恩郷の郷内講座は、参加費はそのまま月曜～金曜日までのどのクラスでも「いつでも何回でも受講し放題!」となりました。遠近各地からのご参加を講師一同、心からお待ちしております。  
(受講ご希望の方は事務局まで)



### Lasu al mi ion diri!

読者の皆様からの声を募集しています!  
近況報告、提案、呼び掛け、面白いニュース、本誌への要望、写真等、なんでもけっこうですので、どしどし事務局までお送り下さい。実名、匿名、リングネーム、なんでもo.k.です!  
FAX: 0771-25-0061  
e-mail: officejo@epa.jp

本誌編集長新任のご挨拶 木村且哉  
「今月号より本誌の編集を担当させていただきます。  
今後も皆様に愛される誌面作りを目指して参りますので、  
よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。」